

協議会の最新情報の提供や、より多くの方に協議会の活動を知っていただけるように、協議会のホームページ (<http://asabata.org/>) を立ち上げました。

ホームページには、協議会概要やこれまでに作成した全体構想、麻機遊水地に関するパンフレット等を掲載しています。今後は皆さんのご意見を聞きながら必要な情報を提供できるように、ホームページを充実化させていきます。

ねんこんだまり

No.40

2013年12月20日

『第6回企画運営委員会』を開催しました！！

開催日時：2013年11月11日（月） 18：30～20：30

参加者：協議会学識委員6名、部会代表5名、行政14名

第6回企画運営委員会では、麻機遊水地の現状の課題及び今後の進め方について話し合いました。現状の大きな課題として、現地での取り組みが始まってから4年が経過するが、外来種の拡大や植生遷移の進行、湿地の乾燥化などの、保全・再生活動の成果があまり見られないといった意見が挙げられました。

また、協議会設立から約10年が経過し、参加者の高齢化や新たな参加者が増加していないなど、自然再生に取り組むための組織体制を懸念する意見も挙げられました。

今後は、今回の意見を基に外来種駆除計画や新たな参加者を巻き込むための組織づくりを進めていくこととなりました。

<外来種駆除計画に対する意見>

- 開放水面の確保は、除草だけでは直ぐに植物が繁茂してしまうため、池の深掘りが必要である。
 - 駆除はみんなで協力して取り組み、観察会等を開催して現状を理解してもらうことが必要である。
 - 駆除種の選定は、専門家の意見を聞いた方が良い。また、協議会以外も巻き込んだ取り組みが必要である。
 - 駆除計画は、委員会を設け検討した方が良い。また、勉強会の開催や不明個所の現状把握調査が必要である。
- ⇒外来種駆除計画については、専門家の意見を聞きながら事務局でたたき台を作成する。

<協議会の組織・運営について>

- 社会貢献活動に取り組んでいる企業も多いため、企業の協力を得てはどうか。
 - 作業だけでなく、参加者が楽しめるものもないと参加者が離れてしまう。
 - 外来種駆除作戦には多くの方が参加した。人集めの方法を検討すれば、参加者は集まると思う。
 - 協議会には母体となる団体が無い。各団体から役員を選出し、運営組織を立ち上げてはどうか。
 - 企画運営委員会で各部会、団体の活動スケジュールを把握し、参加者を募ってはどうか。
- ⇒新規加入者の呼びかけや、組織体制の見直しを進めていく。

<その他>

- 予算がないことを理由に、調査を全て部会に任せたり、専門家にボランティアでお願いするのは失礼な話である。
- ⇒行政側が予算確保していくためには、委員からの要望意見が必要であり、どの様な要望があるか事務局側では全て把握できていない。今後は、要望意見を提出していただき、意見を基に関係機関とも調整を図りながら予算確保の検討を進めていく。

■外来種駆除作戦を開催しました

11月3日に、協議会が主催する外来種駆除作戦を開催しました。駆除作戦には約500名の方が参加し、水抜きした池で泥だらけになって魚を捕獲する子供たちの様子が見られました。今後も市民にも呼びかけし、外来種駆除に取り組んでいきます。



■シンポジウムを開催しました

12月15日に、湿地再生・植生管理部会が主催するシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、部会員が遊水地で見られる外来生物が及ぼす影響などについて話を行いました。

参加者からは、遊水地に生息、生育する外来生物の多さに驚く意見や、在来植物に影響を及ぼす外来種は駆除して欲しいなどの意見が寄せられました。



【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363

FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomogawa/>